

常に売上げが増え続けることが大切
—2022年 新年をむかえ考える事—

食品安全教育研究所

#河岸宏和

<http://ja8mrx.o.oo7.jp/koujyou1.htm>



●毎年売上げが増え続けているか

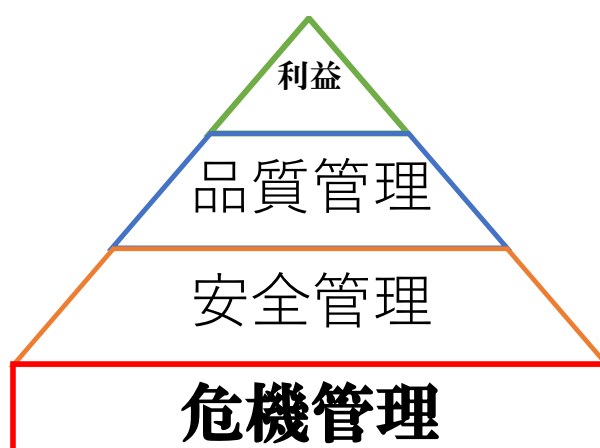
企業の評価は、お客様が決めてくれます。お客様が決めた評価は、売上げと言う数字に表れてきます。毎年、毎年売上げが増えていますか。

2020年からの新型コロナウイルスの影響があるので、売上げが、下がっている企業もあると思います。しかし、外からの影響があったとしても、常に売上げを上げ続けることを忘れてはならないのです。

売上げが増え続け、利益が出る事が必要なのです。

売上げのグラフ、利益率のグラフを毎年毎年確認していますか。

売上げが増え続ける事



●危機管理の担当者を決めているか

図の安全管理、品質管理については、どの工場でも、明確な担当者が決まっていると思います。毎年、毎年状況をつかむ数値も直ぐにグラフ化出来るはずですが。

しかし、「危機管理の担当者はどなたですか」と確認しても、明確な答えが返ってこないところが多く存在しています。

しかし、危機管理の土台が崩れてしまつては、すべてが崩れてしまいます。

危機管理の土台が、砂で出来ていては、雨が降らなければ、問題は無いのですが、ちょっとした雨で、何も対策をとらなければ、直ぐに崩れてしまいます。

「危機管理の状況をグラフ化してください」、「危機管理の状況を説明ください」

この問いに答えることが出来ますか。

危機管理には、世の中の流れも入ります。脱プラ、アニマルウェルフェア (Animal Welfare)、フードロス、従業員の残業、有給の問題、パワハラ、飲酒運転対策、天災、長期停電など、大きな事故、事件があると、必ず話題になることです。

安全管理で言えば、不審者の放火事件、場内の交通事故なども対策が必要です。

品質管理では、出荷時の検査偽装事件、産地偽装事件、賞味期限改ざん事件等も何時話題になるかわかりません。

安全管理で言えば、2021年の年末、大阪で大きな放火事件がありました。あなたの工場は、不審者が、場内、敷地内に入ることが出来ない環境になっていますか。「私の所では起きないよ」と対岸の火事の対策になっていませんか。従業員自らが、ペットボトルにガソリンを入れて、工場を放火しようと企てて、悪意を持って入社してきた場合、防ぐ事が出来ますか。

危機管理の担当者は常に、起こりうる危機を考え、対策を立てることが必要です。

対策は、直ぐに出来る事、ちょっとお金をかけて出来る事、投資が必要な事にわけて、計画を立て、実施することが大切です。

2022年が始まるにあたり、危機管理の担当者を明確にし、起こりうる危機を洗い出し、直ぐに出来る事をまず実施してみませんか。

品質管理、安全管理の数値化を行い、工場健康状況を見るだけでなく、危機管理の状況の健康診断を行ってみませんか。

放火されてから、農薬を混入されてから、添加物を悪意を持って混入されてから、長期停電が起こる前に、備える年に行ってみませんか。

連絡は ホームページからお願いします。 <http://ja8mrx.o.oo7.jp/koujyou1.htm>

以上